

いちご栽培管理 (H31.2.)

(有) 丸 富

1 月は晴天が多く、朝晩は冷えたものの比較的暖かい天候だった。光合成が多いので、全体的に品質、着色が良く、順調に生育した。病害虫の発生は比較的少なかったが、一部でダニ、アブラムシの発生があった。

肥大促進

Kや微量元素を補給して、転流効率を向上させ、肥大効果を引き出す。

肥大促進に **K-40 250g/10a** と **サンミネーラ 50~100 cc/10a** を 1 ヶ月に 2 回灌水する。

ネズミ・害虫対策

近日点の満月頃は、着果負担や樹勢低下によって、ダニなどが盛んに繁殖する。害虫の動向に注意する。

ネズミ・害虫の事前対策に **バイオアクト TS** を **50~70 cc/10a** 混用する。(5日毎に灌水する場合)

着色促進

高気圧時は根から水を吸い上げにくいので、葉面散布で光合成促進して養分吸収を助ける。

着色促進に **笑顔 1,000 倍(又は天地の恵み 500 倍)** と **サンミネーラ 10,000 倍** を随時、葉面散布する。

灌水時の着色促進に **笑顔 100 cc(又は天地の恵み 200 cc)/10a** と **サンミネーラ 50 cc/10a** を灌水する。

品質(食味)向上

株が生殖生長している時は、花粉が多くきれいに受粉する。また、食味も生殖生長で向上する。但し、生殖生長状態が続くと、成り疲れや病害虫の発生を引き起こすことがある。

電照を点灯している場合、日長の変化に注意して、点灯時間を調整する。

品質(食味)向上に **天地の恵み 200~500 cc(又は笑顔 100~200 cc)/10a** と **サンミネーラ 50~100 cc/10a** を 7~10 日毎に灌水する。 ※バイオイングリンを施用の場合は 0.5~1 kg/10a

病害対策

春先に曇雨天が続くと多湿状態になり、かび類の病害が多発する。光合成を促すように、1 日 1 回は換気を行い、湿気を抜き乾燥させる。ミツバチは湿度が下がると、温度が低くても元気に働く。

光合成促進に **笑顔 1,000 倍(又は天地の恵み 500 倍)** と **サンミネーラ 10,000 倍** を葉面散布する。

緑化促進と病害抵抗性強化に **サンミネーラ 1,000~3,000 倍** を 3~5 回、葉面散布する。

追肥(液肥)

できる限り少量多回数に分けて追肥する。施用量は土質、樹勢、環境などによって加減する。

プロ液肥	5~7 L/10a	} 5~7 日毎に灌水する場合 ※状況に応じて加減する
天地の恵み(又は時を越えた贈り物)	200~300 cc/10a	
サンミネーラ	50~70 cc/10a	
バイオアクト TS	50~70 cc/10a	

※サンミネーラの代わりに、シカアップ 100 cc、海藻のエキス 50 g、イローグリーン(微量元素) 300 cc でもよい。

ご注文やお問い合わせは、

有限会社 丸 富 TEL (0942) 65-0123

FAX 0942-65-1091 (24 時間受付)

携帯 090-3328-7603 (富松まで)